



2021年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年11月5日

上場会社名 株式会社中山製鋼所

上場取引所 東

コード番号 5408 URL <http://www.nakayama-steel.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 箱守 一昭

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営本部長 (氏名) 阪口 光昭

TEL 06-6555-3035

四半期報告書提出予定日 2020年11月12日

配当支払開始予定日

2020年12月1日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	53,573	27.7	975	60.1	1,076	57.2	873	57.9
2020年3月期第2四半期	74,116	0.3	2,446	3.9	2,514	1.4	2,074	14.8

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 966百万円 (52.1%) 2020年3月期第2四半期 2,017百万円 (20.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	16.13	
2020年3月期第2四半期	38.32	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第2四半期	117,125	82,391	70.3	1,521.92
2020年3月期	119,445	81,750	68.4	1,510.06

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 82,391百万円 2020年3月期 81,750百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		4.00		6.00	10.00
2021年3月期		3.00			
2021年3月期(予想)				3.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 2020年3月期期末配当金の内訳 普通配当4円00銭 記念配当2円00銭

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	110,000	19.3	1,500	66.8	1,500	66.2	1,000	65.7	18.47

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 有 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期2Q	63,079,256 株	2020年3月期	63,079,256 株
期末自己株式数	2021年3月期2Q	8,942,363 株	2020年3月期	8,942,094 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期2Q	54,137,116 株	2020年3月期2Q	54,137,463 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、様々な不確定要素が内在しております。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる条件等につきましては、添付資料3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	9
3. その他	10
参考資料	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間のわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大の影響により、経済活動は極めて厳しい状況で推移しました。

当社グループの主力事業である鉄鋼業界におきましても、感染症拡大の影響により鉄鋼需要は低迷し、特に製造業向けの需要が大幅に落ち込むなど、著しく経営環境が悪化しました。

このような厳しい経営環境下ではありますが、当社グループは、中期経営計画（2019年度～2021年度）の方針に沿って、当社グループの協働施策を推進するとともに、操業努力による徹底したコスト削減に取り組んでまいりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高535億73百万円(前年同期比205億42百万円減)、営業利益9億75百万円(前年同期比14億70百万円の減益)、経常利益10億76百万円(前年同期比14億37百万円の減益)、親会社株主に帰属する四半期純利益8億73百万円(前年同期比12億1百万円の減益)となりました。

当第2四半期連結累計期間における各セグメントの業績は、次のとおりであります。

鉄鋼につきましては、主力の建築向け及び製造業向け需要の低迷により、鋼材販売数量が前年同期に比べ大幅に減少し、鋼材販売価格も下落したことなどにより売上高は減収となりました。収益面では、鋼材販売数量の減少に加え、前年同期に比べ主原料であるスクラップ価格が下落したものの、それ以上に鋼材販売価格が下落したことなどにより、前年同期比で減益となりました。これらの結果、売上高は524億36百万円(前年同期比204億97百万円減)、経常利益は8億97百万円(前年同期比15億12百万円の減益)となりました。

エンジニアリングにつきましては、鋳機部門においてロール受注が前年同期比で増加したものの、建設部門・海洋部門の受注減が大きく、売上高は7億14百万円(前年同期比46百万円減)、経常損益は0百万円の損失(前年同期比6百万円の減益)となりました。

不動産につきましては、賃貸収入を中心に安定した収益を確保し、売上高は4億22百万円(前年同期比1百万円増)、経常利益は2億74百万円(前年同期比40百万円の増益)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、1,171億25百万円となり、前連結会計年度末と比べ23億19百万円減少しました。これは主として、現金及び預金が増加しましたが、受取手形及び売掛金並びにたな卸資産（商品及び製品、仕掛品、原材料及び貯蔵品）が減少したことによるものであります。

負債については、347億33百万円となり、前連結会計年度末と比べ29億61百万円減少しました。これは主として、支払手形及び買掛金、未払金並びに有利子負債（短期借入金、社債、長期借入金）が減少したことによるものであります。

純資産については、823億91百万円となり、前連結会計年度末と比べ6億41百万円増加しました。これは主として、親会社株主に帰属する四半期純利益を計上したこと及び配当金の支払いによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症の収束時期が不透明な中、わが国経済においては、経済活動は再開したものの、雇用・所得環境や消費の急激な回復は望みにくい状況にあると想定しております。当社グループを取り巻く環境につきましても、鋼材需要は製造業向けでは回復の動きを見せておりますが、建築向けはまだ減少傾向にあり、本格的な回復には時間を要するものと思われまます。また、足下ではスクラップ価格が上昇しており、厳しい状況が続くものと思われまます。

このような環境の下、当社グループは電気炉の生産性向上や加工ビジネスの強化など中期経営計画における諸施策を着実に実行し、収益改善を図ってまいります。

以上の状況を踏まえ、2021年3月期の連結通期業績予想につきましては、売上高1,100億円、営業利益15億円、経常利益15億円、親会社株主に帰属する当期純利益10億円を見込んでおります。

詳細につきましては、本日2020年11月5日に公表しました「2021年3月期第2四半期累計期間における業績予想値と実績値との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,534	21,285
受取手形及び売掛金	26,521	24,893
電子記録債権	3,907	4,195
商品及び製品	11,554	9,206
仕掛品	1,946	1,917
原材料及び貯蔵品	8,525	6,516
その他	2,111	2,544
貸倒引当金	△21	△34
流動資産合計	73,080	70,525
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,710	6,678
機械及び装置（純額）	9,749	9,865
土地	23,776	23,761
その他（純額）	1,342	1,360
有形固定資産合計	41,578	41,665
無形固定資産	243	307
投資その他の資産		
投資有価証券	1,890	2,032
差入保証金	1,869	1,876
その他	837	770
貸倒引当金	△54	△52
投資その他の資産合計	4,543	4,626
固定資産合計	46,364	46,600
資産合計	119,445	117,125

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,101	13,104
電子記録債務	491	604
短期借入金	3,062	2,952
1年内償還予定の社債	42	42
未払金	2,281	1,419
未払費用	1,219	1,241
未払法人税等	328	439
賞与引当金	808	793
環境対策引当金	124	50
解体撤去引当金	65	-
災害損失引当金	187	57
その他	1,418	993
流動負債合計	24,130	21,699
固定負債		
社債	111	90
長期借入金	4,547	4,108
繰延税金負債	2,862	2,943
再評価に係る繰延税金負債	1,113	1,113
環境対策引当金	466	470
解体撤去引当金	404	404
関係会社事業損失引当金	149	123
退職給付に係る負債	2,488	2,502
負ののれん	188	95
その他	1,231	1,182
固定負債合計	13,564	13,034
負債合計	37,695	34,733
純資産の部		
株主資本		
資本金	20,044	20,044
資本剰余金	7,826	7,826
利益剰余金	51,453	52,014
自己株式	△775	△775
株主資本合計	78,548	79,110
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	563	632
土地再評価差額金	3,050	3,037
退職給付に係る調整累計額	△412	△387
その他の包括利益累計額合計	3,201	3,281
純資産合計	81,750	82,391
負債純資産合計	119,445	117,125

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
売上高	74,116	53,573
売上原価	65,299	46,865
売上総利益	8,817	6,708
販売費及び一般管理費		
販売費	3,226	2,695
一般管理費	3,143	3,037
販売費及び一般管理費合計	6,370	5,732
営業利益	2,446	975
営業外収益		
受取利息	21	20
受取配当金	52	31
負ののれん償却額	92	92
持分法による投資利益	50	69
受取保険金	-	80
その他	71	75
営業外収益合計	288	368
営業外費用		
支払利息	64	42
賃借料	74	74
工場事故関連損失	-	59
その他	81	90
営業外費用合計	220	267
経常利益	2,514	1,076
特別利益		
スクラップ売却益	137	85
災害損失引当金戻入額	-	82
環境対策引当金戻入額	-	60
関係会社事業損失引当金戻入額	-	26
固定資産売却益	265	9
災害による保険金収入	42	-
特別利益合計	446	263
特別損失		
固定資産除却損	20	115
解体撤去引当金繰入額	98	-
関係会社事業損失引当金繰入額	14	-
その他	83	21
特別損失合計	216	137
税金等調整前四半期純利益	2,744	1,202
法人税、住民税及び事業税	437	296
法人税等調整額	232	33
法人税等合計	669	329
四半期純利益	2,074	873
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,074	873

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	2,074	873
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△58	68
繰延ヘッジ損益	0	-
退職給付に係る調整額	1	25
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	△0
その他の包括利益合計	△57	93
四半期包括利益	2,017	966
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,017	966
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用につきましては、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

(税金費用の計算方法の変更)

従来、当社及び連結子会社の税金費用につきましては、原則的な方法により計算しておりましたが、当社及び連結子会社の四半期決算業務の一層の効率化を図るため、第1四半期連結会計期間より連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法に変更しております。

なお、この変更による影響は軽微であるため、遡及適用は行っておりません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				調整額 (百万円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (百万円)
	鉄鋼 (百万円)	エンジニア リング (百万円)	不動産 (百万円)	計 (百万円)		
売上高						
外部顧客への売上高	72,934	760	421	74,116	—	74,116
セグメント間の内部売上高 又は振替高	88	163	155	407	△407	—
計	73,022	924	577	74,523	△407	74,116
セグメント利益 (経常利益)	2,410	6	234	2,651	△137	2,514

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の
主な内容(差異調整に関する事項)

利益	金 額 (百万円)
報告セグメント計	2,651
セグメント間取引消去	△41
全社営業外損益(注)	△95
四半期連結損益計算書の経常利益	2,514

(注) 全社営業外損益は、主に報告セグメントに帰属しない営業外収益と営業外費用の差額であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				調整額 (百万円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (百万円)
	鉄鋼 (百万円)	エンジニア リング (百万円)	不動産 (百万円)	計 (百万円)		
売上高						
外部顧客への売上高	52,436	714	422	53,573	—	53,573
セグメント間の内部売上高 又は振替高	81	21	149	252	△252	—
計	52,518	735	572	53,826	△252	53,573
セグメント利益又は損失(△) (経常利益又は経常損失(△))	897	△0	274	1,172	△95	1,076

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の
主な内容(差異調整に関する事項)

利益	金 額 (百万円)
報告セグメント計	1,172
セグメント間取引消去	△11
全社営業外損益(注)	△84
四半期連結損益計算書の経常利益	1,076

(注) 全社営業外損益は、主に報告セグメントに帰属しない営業外収益と営業外費用の差額であります。

3. その他

(参考資料)

(単 独) 売 上 高 内 訳 表

(単位：百万円)

	2019年度 上期 ①	2020年度 上期 ②	増 減
			前年同期比 (②-①)
鋼 材	51,855	33,037	△ 18,818
販売数量 千トン	(669.6)	(469.7)	(△ 199.8)
販売単価 千円/トン	(77.4)	(70.3)	(△ 7.1)
そ の 他	1,930	1,509	△ 420
合 計	53,786	34,547	△ 19,239
(うち、輸出)	(2,461)	(2,354)	(△ 107)